

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 東映アニメーション株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4816 URL <http://www.toei-anim.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高木 勝裕  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略本部副本部長 (氏名) 木下 浩之 (TEL) 03-5318-0639  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	24,067	△2.6	3,030	△10.1	3,421	△7.9	2,097	△10.8
25年3月期第3四半期	24,708	△5.4	3,370	△18.4	3,716	△16.6	2,351	△11.5

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,194百万円(58.2%) 25年3月期第3四半期 2,018百万円(△19.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	153.72	—
25年3月期第3四半期	169.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	46,143	38,552	83.5
25年3月期	44,835	36,176	80.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 38,552百万円 25年3月期 36,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	60.00	60.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年3月期期末配当金の内訳 特別配当30円を含んでおります。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,300	△12.9	3,300	△30.8	3,700	△29.7	2,300	△30.1	168.60

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	26年3月期3Q	14,000,000株	25年3月期	14,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	357,937株	25年3月期	357,937株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	26年3月期3Q	13,642,063株	25年3月期3Q	13,855,555株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが本資料の発表日現在において入手可能な情報から得られた判断に基づいており、リスク及び不確実性を包含しております。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種政策効果を背景に個人消費や企業収益が持ち直し、海外景気の下振れが国内経済に与えるリスクが懸念されるものの、景気は緩やかな回復傾向が見られました。

当社グループを取り巻く事業環境におきましても、依然として少子化やテレビ用アニメーションの視聴率低下傾向、娯楽の多様化等により厳しい状況が続いておりますが、一方では劇場用アニメーションの活況や携帯端末・定額課金の普及による映像配信の伸張、地域活性化の為のアニメツーリズムへの関心の高まりの他、政府によるコンテンツ支援策の下、持ち直しが期待される海外市場等、アニメーションビジネスの成長機会が見込まれる分野も数多くあります。

こうしたなか、当社グループは、国内で「ワンピース」、「ドキドキ!プリキュア」、「聖闘士星矢」シリーズ、海外で「ワンピース」、「ドラゴンボール」シリーズ、「聖闘士星矢」シリーズを主とした、テレビ・映画・ブルーレイ・DVD・携帯端末・インターネット等への映像製作・販売事業や、キャラクターライセンス等の著作権事業、キャラクター商品の開発や販売等を行う商品販売事業、キャラクターショー等を行うその他事業を展開いたしました。

この結果、当3第四半期連結累計期間の売上高は240億67百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は30億30百万円（同10.1%減）、経常利益は34億21百万円（同7.9%減）、四半期純利益は20億97百万円（同10.8%減）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります（セグメント間取引金額を含みます）。  
なお、セグメント損益は、営業利益ベースの数値であります。

## ①映像製作・販売事業

劇場アニメ部門では、3月に「映画プリキュアオールスターズNewStage 2」と「ドラゴンボールZ 神と神」、7月に「劇場版トリコ」、9月に「キャプテンハーロック」、10月に「映画ドキドキ!プリキュア」を公開しました。「キャプテンハーロック」の制作収入が大きかったことに加え、2014年2月公開予定の映画「ブッダ2」の制作収入を計上したこと等から、前年同期と比較して大幅な増収となりました。

テレビアニメ部門では、「ワンピース」、「ドキドキ!プリキュア」、「トリコ」、「聖闘士星矢Ω」、「探検ドリランド」「京騒戯画」の6作品を放映しました。「探検ドリランド」の放映が前年同期の7月からだったこと、またライブラリー作品の放映権販売が好調に稼動したことから、増収となりました。

パッケージソフト部門では、映画「ワンピースフィルム Z」や劇場公開の効果があつた「ドラゴンボール」シリーズのブルーレイ・DVDが好調に推移したものの、前年同期にあつた遊技機向け映像製作に相当するものがなかったこと等から、全体としては減収となりました。

海外部門では、「ワンピース」をはじめとする複数作品の中国向け大口映像配信権契約や、映画「キャプテンハーロック」の海外配給契約があつたこと等に加え、為替の影響もあり、大幅な増収となりました。

その他部門では、テレビやパソコン、携帯端末向けの映像配信サービスは、配信チャンネルの増加もあり好調に稼動しましたが、前年同期に好調に稼動したソーシャルゲーム『聖闘士星矢 ギャラクシーカードバトル』が軟調に推移したことから、その他全体としても大幅な減収となりました。

この結果、売上高は104億6百万円（前年同期比8.9%増）、セグメント利益は5億63百万円（同43.6%増）となりました。

## ②著作権事業

国内部門では、「ドラゴンボール」シリーズの商品化が劇場公開もあり好調に推移したことに加え、ライブラリー作品で遊技機の大契約がありました。一方、前年同期に好調に稼動した「ワンピース」が軟調な展開となったこと等から、前年同期と比較して減収となりました。

海外部門では、台湾や中国を中心としたアジア圏において「ワンピース」の商品化が好調に推移し、また為替の影響もあり、大幅な増収となりました。

この結果、売上高は83億6百万円（前年同期比4.8%減）、セグメント利益は33億43百万円（同4.9%減）となりました。

## ③商品販売事業

商品販売部門では、前年同期には「ワンピースフィルム Z」の劇場公開に伴うタイアップや販促関連の商品が高稼働だったことの影響から、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

この結果、売上高は44億95百万円（前年同期比16.6%減）、セグメント利益は1億7百万円（同41.4%減）となりました。

④その他事業

その他部門では、「ワンピース」の催事イベントや「ドキドキ!プリキュア」のキャラクターショー等を展開しましたが、前年同期にあった東京での『ワンピース展』に相当する催事がなかったことから、前年同期と比較して大幅な減収となりました。

この結果、売上高は10億53百万円(前年同期比13.1%減)、セグメント利益は1億35百万円(同38.1%減)となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループの実際の業績は、事業を取り巻く経済環境、市場動向、為替レートの変動等の様々な要因により、記述されている業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月13日付の決算短信で発表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日付公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,169,484	16,235,947
受取手形及び売掛金	5,314,841	5,488,873
商品及び製品	85,170	61,597
仕掛品	1,252,415	1,016,942
原材料及び貯蔵品	56,495	32,084
その他	2,895,007	2,522,416
貸倒引当金	△24,103	△91,594
流動資産合計	23,749,310	25,266,269
固定資産		
有形固定資産	3,673,255	3,865,865
無形固定資産	193,942	200,325
投資その他の資産		
投資有価証券	10,566,308	11,843,317
その他	6,693,616	5,008,650
貸倒引当金	△41,133	△41,133
投資その他の資産合計	17,218,791	16,810,834
固定資産合計	21,085,989	20,877,025
資産合計	44,835,299	46,143,294
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,449,435	4,461,937
未払法人税等	1,334,359	577,284
賞与引当金	232,037	115,880
その他	1,733,840	1,179,356
流動負債合計	7,749,673	6,334,458
固定負債		
退職給付引当金	704,150	753,183
役員退職慰労引当金	116,670	134,070
その他	87,879	369,160
固定負債合計	908,700	1,256,413
負債合計	8,658,374	7,590,872

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,867,575	2,867,575
資本剰余金	3,409,575	3,409,575
利益剰余金	30,263,968	31,542,455
自己株式	△543,591	△543,591
株主資本合計	35,997,526	37,276,013
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	486,944	1,318,775
為替換算調整勘定	△307,545	△42,366
その他の包括利益累計額合計	179,399	1,276,408
純資産合計	36,176,925	38,552,422
負債純資産合計	44,835,299	46,143,294

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	24,708,653	24,067,056
売上原価	17,900,884	17,283,056
売上総利益	6,807,768	6,784,000
販売費及び一般管理費	3,436,809	3,753,876
営業利益	3,370,958	3,030,123
営業外収益		
受取利息	65,437	56,435
受取配当金	134,722	163,575
持分法による投資利益	108,073	79,834
その他	41,748	103,556
営業外収益合計	349,981	403,402
営業外費用		
自己株式取得費用	4,607	—
その他	30	12,483
営業外費用合計	4,638	12,483
経常利益	3,716,302	3,421,042
税金等調整前四半期純利益	3,716,302	3,421,042
法人税、住民税及び事業税	1,309,126	1,290,470
法人税等調整額	55,820	33,561
法人税等合計	1,364,947	1,324,031
少数株主損益調整前四半期純利益	2,351,354	2,097,010
四半期純利益	2,351,354	2,097,010



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,351,354	2,097,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△336,687	790,876
為替換算調整勘定	12,237	265,178
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,552	40,954
その他の包括利益合計	△333,002	1,097,009
四半期包括利益	2,018,352	3,194,020
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,018,352	3,194,020
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。